

日本洋書協会会報

BULLETIN OF JAPAN ASSOCIATION
OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

目次

理事会・委員会報告	1
祝勝雄松堂書店創業70周年・会員の動き	2
海外ニュース・うちの会社	3
新・パソコン外論考(其32)	4
出版文化史逍遙(74) 洋書の歴史雑記帳(XXIX)	5
内容と形式	6
2003年度主要国際書籍展一覧	7

理事会報告

11月18日(月)

1. 以下の委員長報告を了承した。

・総務委員会：

事務局長人事に関する答申は時期尚早と判断し、審議を延期した。

・広報委員会：

フランクフルト・ブックフェアで協会パンフレット及びダイレクトリーを主な出版社の輸出又は営業責任者に直接配付した。(会報11月号に報告書掲載)

同フェアにおいて協会ブースを開設したいとする提案(10月理事会/新田理事)について、費用と効果の点から疑問視する意見が出された一方、出張した協会メンバーの連絡や情報交換の場、PRの拠点などとして有用であろうとする意見もあった。

・ホームページダイレクトリー委員会：

11月5日に委員会を開催した。

ウェブへのアクセス数が月間1200～1300件のレベルになった。名簿及びAgent Listへのアクセスが圧倒的に多い。

会員へのサービスとして非会員名簿をウェブ「会員のページ」に掲載する。

ウェブ・理事会及び委員会各ページに、会報とは別に理事会報告及び委員会報告を速報と

して掲載する。会報との関連について会報委員会と討議したい。

バナー報告、ダイレクトリー広告の獲得に引き続き注力する。

12月に開催されるオンライン会議(ロンドン)に出席するので、後日報告する。

・文化厚生委員会：

12月4日に委員会を開催し、新年賀詞交換会の準備を始める。

2. 皆川理事より12月末日のエルゼビア・ヘルス・サイエンス退社に伴い、理事辞任の申し出があった。役員の任期中の辞任に関する規定はないが、事情に鑑み受理した。役員改選までの期間が短いので理事の補充は行わない。

3. その他

・「出版国際交流会50年史」に村田理事長が特別寄稿された。

・11月19日に東京国際ブックフェア実行委員会が開催される。当協会からは杉山事業委員長及び高橋事務局長が出席する。

・会員に共通するテーマ、特に近年の外国雑誌取引にかかわる諸問題についての勉強会開催を総務委員会を中心として検討する。併せて関西地区会員との交流を図る。

委員会報告 <ホームページ・ダイレクトリー委員会>

2002年11月5日(火曜日) 16:00～17:30

於 ユサコ株式会社 会議室

1. 当委員会のメンバーの変更について

ユサコ株式会社の飯嶋勇氏が定年退職のため、今後は尾内昌弘、長谷川実の両氏がメンバーに加わる旨報告があった。

* 尾内昌弘...ホームページへのコンテンツ提供、当委員会への出席

* 長谷川実... JAIPの構成メンバーであり当委員会の委員長である山川会長の補佐役、委員会の事務全般(議事録作成、委員への各種情報伝達、他)

ホームページへのコンテンツの
HTML化と正田委員への橋渡し
ホームページのAccess Logの分析

2. JAIPホームページについて

- ・ニュースソースとしては従来通り、Publishers Weekly, ASA Newsから積極的に取り入れると共に、広範囲からニュースを取り入れたい
- ・JAIPのアウトサイダーの名簿掲載を開始した

い

3. 正田委員から

ホームページをより充実させるため、JAIPの理事会や各委員会の活動を掲載可能な限り掲載したい。詳細な議事の公開が無理な場合は議題だけでも掲載したら如何か。

*この件に関しては高橋事務局長が各理事、委員会に意向を伺うこととした。

おめでとうございます （株）雄松堂書店 創業70周年

当協会理事・新田満夫氏率いる（株）雄松堂書店が今年創業70周年を迎えられました。心からお祝い申し上げます。

1932年（昭和7年）、古書のメッカ東京・神田神保町に呱呱の声をあげ、以来洋古書ひとすじの商いに邁進してこられました。戦後は人文・社会科学系の洋書輸入・販売業務を開始する一方、貴重な学術文献の復刻やマイクロ化などの出版事業にも進出、その多彩かつ時宜を得た事業展開は高く評価されています。また、書誌学上の優れた研究や業績を顕彰するゲスナー賞を創設するなど、学術研究の啓蒙・発展にも大きく寄与されています。

去る11月20日、ホテルグランドパレスで開かれま

した“創業70周年感謝の集い”には、内外のお客様、取引先など400人を超える人々が参会し、慶事をお祝いしました。また会場内の別室では稀覯書展と共にクリスティーズ社による古書鑑定会も催されて、滅多にお目にかかれない貴重な書物に触れることができ、無機質なパソコン画面やプラティックのお皿とは次元を異にする、「書物」の持つ質感と温かみをあらためて体験し、ホッとされた方も多かったのではないでしょう

うか。
向後80周年、100年へと（株）雄松堂書店がますます充実・発展されることを期待すると共に、わが日本洋書協会への一層のご指導とご鞭撻をお願いいたします。

会 員 の 動 き

【事務所移転】

会 員 名：株式会社 穂高書店

新 住 所：〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-15

杉山ビル4F

Tel：03-3233-0331

Fax：03-3233-0332

E-mail：info@hotakabooks.com

URL：http://www.hotakabooks.com

業務開始日：2002年12月4日

【退 会】

残念ながら下記の正会員2社が退会されました。

会 員 名：株式会社 オライリー・ジャパン

（2000年1月入会）

株式会社 ハブネット

（2001年1月入会）

退 会 日：2002年9月30日



海外ニュース

◆◆ Knopf, Everyman's Library を掌中に

Random Houseのインプリント Alfred A. Knopfは、Everyman Publishersの古典および旅行関係書出版を買収した。Everyman's Libraryのハードカバー・タイトル100以上(ガブリエル・ガルシア・マルケス、トニ・モリスン、サルマン・ラシュディ、イーヴリン・ウォーなど著名な作家の作品が含まれる)の全世界

における販売権も契約に入っている。Alfred A. KnopfはKnopf Publishing Groupの一部門として、既にEveryman's Libraryの米国における販売会社であり、今後は英国での販売にも乗り出すことになる。英国およびヨーロッパにおける販売には、引き続きRandom House UKが当り、流通業務はGrantham Book Servicesが継続して行う。英国でのペーパー版販売権はOrionに残る。

theBookseller.com Informer NOV 15,2002

うちの会社

株式会社 日 新

東京都千代田区三番町5番地

東京航空部

Tel 03-3238-6601

<http://www.nissin-tw.co.jp>

弊社は昭和13年、海の玄関横浜において港湾運送業者として発足し、ついで神戸、東京、大阪、千葉の各港にも進出し物流の一翼を担ってまいりました。

その間、わが国の経済発展とともに物流業界に対する社会ニーズも複雑かつ高度化してまいり、ハード面だけではなく、ソフト面においても充実を迫られることとなり、業界にさきがけ、当時の新しい輸送形態ともいべき国際複合一貫運送業務および国際航空貨物事業を開始致しました。

その後昭和60年10月1日をもちまして、社名を「日新運輸倉庫株式会社」から「株式会社日新」に変更致しましたが、これは従来の運輸・倉庫業の枠にとらわれず、物流業務は無論、その周辺にある業務もふくめましてお客様のご要望にお応えしてまいりたいとの念願によるものです。

現在では、北米、欧州、中近東、アジア、中国等に21ヶ国、92ヶ所の現地法人並びに駐在事務所を設営し、国内161ヶ所の拠点及びグループ会社36社を有する文字通りの総合物流業者として業務を展開しており、国内外で品質保証システム「ISO9002」と環境マネジメントシステムの「ISO14001」の認証取得を積極的に推進し、さらなる品質の維持・向上につとめ、お客様の安心と信頼を得ております。

特に、書籍、雑誌等の物流につきましては、古くから当日本洋書協会の会員各社殿より、倉庫、航空貨物輸送、及び海上物混載輸送等において弊社のサービスをご利用頂いております。

今後とも会員各社殿の事業を側面からサポートする、縁の下の力持ちとして業務を推進致す所存でございますので、宜しくお願い申し上げます。

山口一文

洋書の歴史雑記帳〔XXIX〕キリシタン版の原書(3) 鈴木 陽 二

加津佐(2)

信長の庇護を受け、安土城下のセミナリオは布教と学業活動に平和な日々を送っていたが、本能寺の変で施設の移転を余儀なくされた。そのうえ、1587(天正15年)には秀吉によって伴天連追放令が出され、近畿方面のミヤコのセミナリオは有馬に移ってシモ(九州)のセミナリオと合併し、キリシタン大名有馬晴信の城下でようやく安住を見いだした。晴信は島原半島全域、さらに長崎浦上にも飛び地を領し、ここ有馬の日野江城に拠って領国を支配した。戦国時代初期の土を掻き揚げて堀をうがち、土居を築く、いわゆる掻揚げ城だったこの城は現在発掘が進められており、その巨大さは原城の遠く及ぶものではないという。原城は元来日野江城の支城として築かれたものだった。城址は島原鉄道の北有馬駅に近いが、この沿線には原城、有家、口之津、加津佐、島原など、キリシタンに因む駅名を多く目にすることができ、ゆったりと走る一両編成の車輛に身をゆだねていると、その歴史の断片が走馬灯の様に脳裏を巡り、いつしか現実感を喪失する。

ともあれ、いったん有馬に落ち着いたセミナリオは、1589(天正17年)に加津佐に移転した。一方、府内(大分市)に開設されたコレジオも、長崎、有家など数ヵ所を移動して1590(天正18年)に加津佐に移り、セミナリオと同居することになった。しかし、海辺に立つ新しく大きな建物は目立ち過ぎるということで、一年余りで、セミナリオは有馬領内に、コレジオは天草に移転することになるのだが、その間日本で最初の活版印刷本、加津佐版が印刷・刊行された。

加津佐のコレジオで印刷されたのは、『サントスの御作業のうち抜書』で、これが発行年が確定できる現存最古のキリシタン版ということになっている。しかし、それ以前に恐らく加津佐で印刷されたと思われるものとして漢字交じりカタカナの祈禱書『オラシヨトマダメントス』と典礼書で漢字交じりのカタカナの『第七善作二日ヲ送ルベキ為二保ツベキ条々』がそれぞれコレジオが移転してきた1590年に刊行され、さらにその翌年の1591年に、漢字交じりひらがなの『おらしよとまだめんとす』および教理書で漢字交じりひらがなの『どちりいなきりしたん』が刊行されたと推定されている。おらしよ断簡は『ぎやどべかどる』

の表紙の裏打ちから発見されたもので、現在は上智大学に収蔵されており、『どちりいなきりしたん』は、ヴァチカンのバルベリーニ文庫に残されている。

さて、『サントスの御作業のうち抜書』(2巻2冊、771ページ)は、コレジオが加津佐に移転した翌年の1591(天正19年)にローマ字本として印刷され、表題は"Sanctos no Gosagueono uchi Nuqigaqi"だった。この作品の内容は聖人伝で、十二使徒や40名ほどの聖者・殉教書の伝記が語られ、殉教の意義・功德などが説かれている。下巻には、スペインの自然神学者でドミニコ会士ルイス・デ・グラナダ著『信経序説』の抄訳が納められている。彼の著作は『ぎやどべかどる』の原著を含めて相次いで日本に輸入された。

『サントス〜』の原典は単一ではなく、中世の有名な聖者伝『黄金伝説』や使徒行伝など、各種の聖者伝から抜粋・編纂したものという。実際に1556(弘治2年)には『聖人伝』が輸入されており、フロイスのイエズス会への書簡1565年2月にも宣教師ヴィレラが「聖徒の話を訳しつつあり」と記され、さらに同年6月には『聖徒の華』(Flos Sanctorum)を訳したと報告している。1565~66年には宣教師のヴィレラ、フロイス、修士ロレンソなどによりいくつかの聖人伝が翻訳されたといい、それらも『サントス〜』に多いに取り入れられたのではないだろうか。

ザビエルから洗礼を受け、初期の布教に苦闘した目の不自由な日本人口レンソは、宣教師ヴィレラに同道して布教の道々聖者の話を聞かされていた。ロレンソは、かねてから聖者伝をまとめたいて考えていたのが、養方パウロと息子ヴィセンテの文才を得て、文学的な薫りの高い作品に結実したのだという。パウロは若狭に生まれて受洗後各地で布教に従事したあと、府内(大分市)のコレジオで国語教師を務め、キリシタンの文筆活動に大きな足跡を残した。彼はこの作品の全39章のうち4章を、息子のヴィセンテが35章を訳したという。なお、本書は現在ヴェネツィアの国立マルチアナ図書館とオックスフォード大学ボードレイアン図書館にそれぞれ所蔵されている。〔参考文献：富永先生古稀記念『きりしたん版の研究』/土井忠生「養方パウロの著作」/長崎県教育委員会『長崎のキリシタン学校』(元丸善・本の図書館長)

新・パソコン外論考(其32)

宇田川一彦

New York, New York / ニューヨーク！

■子曰、導千乘之國、敬事而信、節用而愛人、・・・、

The Master said, "In guiding a state of a thousand chariots, approach your duties with reverence and be trustworthy in what you say ;avoid excesses in expenditure and love your fellow men; ・・・."

(論語 / 学而篇・Confucius ;The Analects / Book)

【超拙意訳；先生が、言われた。「戦車を千台とそれ相応の兵士を出せる国を治める方法は、事柄を大切にし事を行うこと、そして言ったことは実行することだね。次に、政府の費用は支出を控え（節約して）、人民たちを愛することだよ。】

【外注；「戦車千台の国」とは、当時の中ぐらいの大きな国を指します。最終段は、人民を工事などに使役するときは、農繁期を避けて、適当な時期を選ぶこと、と続きます。】

Internet について (博物館海外編 - New York 編 -)

アメリカ・NY (New York) のメトロポリタン美術館の website で、R. Avedon: Portraits が、今年9月26日から2003年1月5日まで、開催されていることを知りました。もし事がおこれば、空港での警戒が厳しくなる。雪が降れば、飛行機がスリップする。行くなら今、という自己弁護の聲がしました。そこで、11月下旬から12月上旬まで、駆け足でのアメリカ・ニューヨークの美術館・博物館取材してきました。

アメリカン航空 (<http://www.aa.com>) で、往路12時間30分、復路14時間30分と jet syndrome と、チップ計算の煩わしさと、聞き取りにくい英語 (おもに deli 系・taxi) の勝負でした。JFK 国際空港 (John F. Kennedy International Airport = <http://www.panynj.gov/aviation/jfkframe.htm>) からセントラルパーク南のホテルに向かう際に通った有料のトンネル (Queens Midtown Tunnel: \$3.50 だったように思う。マンハッタン島へは、4か有料のトンネルがある) で、うん、便利と思ったのが、E-Zpass です (イージーパス)。クレジットカードで登録すれば、郵送で名刺大 (厚さ1センチ弱) のセンサーが届くので、Windshield の rearview mirror のあたりにペタッと貼れば、その日から有料のトンネル・橋などをイージー

に専用ゲートで通過できるわけです (仕組みは日本の ETC と同様。ただ、専用 / 一般の混在はなし)。この、決済用センサーは、スマート。かつ別売費用がなしです。残念ながら、日本の ETC (Electronic Toll Collection systems = 自動車料金支払いシステム、現在はこの訳語の頭にノンストップと付いているようですが) の武骨な「箱」とアンテナを dashboard の上に置きたくないし、本体値段が値下がりしても、2万円弱から3万円 (取付料が1万円弱かかる) 筆者はその分、高速代を払った方がメリットが大きいと思い、当分はパスしています。

チップ計算も面倒なので、足は、MTA (Metropolitan Transpotation Authority: <http://www.mta.info>、このサイトは既述した E-Zpass の情報も含む) 地下鉄を愛用。地下鉄は、1回 \$1.50 で往復 \$3.00 ですから、1日乗り放題 \$4.00 の Metro Card を購入して、博物館・美術館などの観光スポットを回っておりました。

メトロポリタン美術館 (The Metropolitan Museum of Art: <http://www.metmuseum.org>) は、セントラルパーク・アッパーイーストサイドにあります。地下鉄では、77St 駅 (86St 駅でも可) で下車徒歩10分弱にあります。Grand Central 42St 駅からは、約10分。ギャラリー数だけで、約240弱。広いというよりは、巨大です。また、常設展や特別展をゆっくりと解説を聞きながら回る Audio Guide (1日一般 \$6.00) や、英中仏独伊葡露西韓日の各国語によるガイドツアー (無料) もあります。お目当ての、アヴェドン展 (R. Avedon: Portraits/R. Avedon は、精力的に1950年代から70年代までの芸術家・知識人・政治的に活躍した人物などのポートレートで有名になった) は、モノクローム写真を、壁一面に拡大 (シルバープリント) したものが、4部屋分ぐらいに展示されていました。

印象的なのは、C. Chaplin の大いなるブレとピンボケのポートレートです。また、建て×横10メートル弱の A. Warhol のスタジオに集まったゲイ達の全裸写真、M. Monroe、詩人の Ezra Pound でした。

美術館で実物に接したときに、「色」が違うという感じが、今回は段違いに大きかったものです。19世紀のヨーロッパ絵画彫刻展 (フランス後期印象派が中心) で、Degas、Manet、Monet、Renoir の見慣れた絵画の色が違うのです。明るく、しかも生き生きした色に感動し、立ちすくんでいました。

(以下次号。乞ご期待)

内容と形式とどちらが大事かと聞くと、たいていどちらも大切と答えるのが普通であろう。どちらも大切であるという主張の背景には、日本ではこの半世紀において、形式が乱れたために、内容も乱れることを見えてきたからであろう。

筆者が中学生の頃、敗戦を経験したが、その頃を振り返ると苦い思い出が次々と湧いてくる。まず六三制になったため、義務教育期間の延長に伴って教師の不足が生じ、数ヶ月の休講続きを味わったこと、また、それよりも大きかったのは、学校側が指導目標を失い、退廃的な雰囲気で学校生活を送ったことを思い出す。さらに、号令をかけることは「軍国主義」の復活につながるとして、団体での挨拶や指示は撤廃されたことも鮮明に蘇る。

しかし、伝統的に礼儀作法を重んじてきた学校もあり、日本は敗戦一色ではなかったと思われる。筆者は個人的には戦後の乱れに戻りたくないもので、礼法を重んじる大学では、講義の始めと終わりには「起立一礼」と号令をかけると。学生は「お願いします - ありがとうございます」と言うのである。これは「いただきます - ごちそうさま」とか「行って参ります。ただ今」と言う日本の生活習慣と共通していると思っている。

外国語教育に携わる人たちの間では、最近は形式よりも内容のほうを重視すべきであるという主張が強くなっている。もちろん意味内容が大事だというのは当然としても、最低限の外国語の形式は尊重されるべきで、形式が修得されるべき時には修得させるように工夫することが教師に求められる。

音声形式は有限個であり、わずか、母音20種、子音24種、強勢3種、音調5種合計52種であり、談話は基本的にはこれらの反復に過ぎない。内容面に力を入れる前に形式面を徹底的に発音記号などを活用して指導すべきであろう。発音記号が読めなくて活用できない学習者には近似カナ表記を併記するようにという主張を筆者はもっており、発音記号も発音辞典にある表記をそのまま使うのではなく、若干補助記号をつけて（これをIPA + と名付けている）読みやすくするのがよい。先日の学会発表で、7種の補助記号を使うことを提唱したところ反対意見はなく、むしろ歓迎する方向であった。

言語の形式という場合、音声形式と文字形式とがあるが、日本は伝統的に視覚文化圏にあったため、とかく文字に依存する傾向が強い。音声形式は機器を使う以外は見えないので、疎かになりがちである。例えば、lとrの違いは文字が違っているからそれでいいのだ、という考え方では、音声形式をないがしろにしたことになる。lとrの区別はむずかしいと言うよりは、むしろどうすれば日本語から容易にlを出せるようになるかを工夫することが賢明であろう。

前にも書いたことがあるが、lの前にnをつけると出しやすく、rの前にwをつけると出しやすいのであるが、lの感覚をより正確に把握するために、日本語の「(雨に)濡れた」を使うと面白い。「濡れた」

出だしのnuのuを段々短くして最後にnだけを残すと「ヌレタ」のようになり、英語のletterに近い発音が生まれる。アメリカ英語のletterの音声表記は〔lédə r^スレァ〕のようになる。

私たちの知識内容は、多くの場合、母語を通して蓄積されてきたのであり、外国語学習においては、その音声や文字の表現形式を重視しなければならないのではないだろうか。content-basedかform-basedかを抽象的に論じるよりも、議論する前に、日本語に入った英語の身近な例を取り上げ、それを徹底的に比較すると日本語と英語の性格がより明らかになる。例えば、カレンダーは元の英語で〔k^hæl.əndər ケア^スランダァ〕に近く発音する。

興味深いのはアボガドの発音である。日本語では餅の膨らみあるいはアボガドの表面を撫でるように発音するが、英語では〔æv.ə.k^hɑːdou エアヴァカードゥ〕のように「強弱・強弱」の強勢リズムパターンで発音する。日本語の調子を饅頭モデル、英語の調子を二股モデル(twin-peak model)というような言い方をするとわかりやすいのではないだろうか。このような研究と実践を続けて数年になるが、毎月一回、小学館プロダクションの会議室をお借りして、絶対評価をクリアする英語発音講座を主に若手の英語教師を対象に行っている。英語の発音で悩まれている方は遠慮無く訪れてもらいたい。問い合わせ先：03-3515-6390 アイリス学会事務局。

(聖徳大学教授)

内容と形式

島岡 丘

2003 年度主要国際書籍展一覧

書籍展名	開催期日	開催地	e-mail	Website
Milia	2 / 2 - 2 / 4	Cannes	info@milia.com	www.milia.com
Taipei Intern'l Book Exhibition	2 / 19 - 2 / 24	Taipei	info@tibe.com	www.tibe.org.tw
Salon du Livre Paris	3 / 22 - 3 / 27	Paris	livre@reed - oip.fr	www.reed-oip.fr
AAS (Ass. for Asian Studies)	3 / 27 - 3 / 30	New York	jwilson@aasianst.org	www.aasianst.org
London Intern'l Book Fair	3 / 16 - 3 / 18	London	ruth.mases@reedexpo.co.uk.	www.lbf-virtual.com
Leipzig Book Fair	3 / 20 - 3 / 23	Leipzig	info@leipziger-buchmesse.de	www.leipziger-buchmesse.de
Bologna Children's Book Fair	4 / 2 - 4 / 5	Bologna	dir.com.@bolognafiere.it	www. bolognafiere.it/bookfair
Tokyo International Book Fair	4 / 24 - 4 / 27	Tokyo	tibt@reedexpo.co.jp	www.reedexpo.co.jp
Asia International Book Fair	4 / 25 - 4 / 27	Singapore	sp@reedexpo.com.sg	www.aibf.com.
Book Expo America	5 / 28 - 6 / 1	Los Angeles	inquiry@bookexpo.america.com	www.bookexpoamerica.com
(ABA Trade Exhibit)	5 / 28 - 6 / 1	Los Angeles	info@bookweb.org	www. bookweb.org
Warsaw International Book Fair	5 / 14 - 5 / 18	Warsaw	mtk@arspolona.com pl	www.bookfair.pl
Beijing Intern'l Book Fair	5 / 19 - 5 / 23	Beijing	bibfmo@bibf.net	www.bibf.net
Seoul International Book Fair	6 / ? - 6 / ?	Seoul	danapark@kpa21.or.kr	www.sibf.co.kr
Special Library Ass.Book Exhibit	6 / 7 - 6 / 12	New York	sla@sla.org.	www.sla.org
American Lib. Ass. Book Exhibit	6 / 19 - 6 / 25	Toronto	ala@ala.org	www. ala.org
Australian Book Fair	6 / 19 - 6 / 20	Sydney	info@expertiseevents.com.au	www.bookfair.com au
Hong Kong Book Fair	7 / 22 - 7 / 28	Hong Kong	exhibitions@tdc.org.hk	www.hkbookfair.tdc.org.hk
Moscow Intern'l Book Fair	9 / 3 - 9 / 8	Moscow	exhibitions@elnet.msk.ru	www. bookfair.ru
Frankfurt Book Fair	10 / 8 - 10 / 13	Frankfurt	info@book - fair.com	www. frankfurt - book - fair.com
Salon du Livre Montreal	11 / 13 - 11 / 17	Montreal	slm.info@videotron.ca	www.salondulivredemontreal.com
CIROBE 2002	10 / 24 - 10 / 26	Chicago	info@cirobe.com	www. cirobe.com

よいお年をお迎え下さい

スペイン語最新ビデオ

ESPAÑA – Campo y Ciudad

地方と都会のドキュメンタリー

制作：CHANNEL FOUR TELEVISION / UK

スペインの現状が分るドキュメンタリービデオ。
スペイン語を学ぶ学生に最適です。

全2タイトル

1: BILBAO : El Renacimiento de una Ciudad

ビルバオ市：都市の再生 20分 スクリプト付 ¥23,000
新しいモダン・アートの Guggenheim Museum / Nervion 川の浄化 /
おしゃれになった公共交通システム etc. を紹介します。



2: ALMERÍA : El Campo en Crisis

アルメリア市：困難に直面する地方都市 20分 スクリプト付 ¥23,000
果物と野菜の生産に従事するモロッコ人の移民の若者たちを紹介します。



(表示価格は本体価格で消費税は含まれておりません)

発売元：仲興通商株式会社 〒160-0011 東京都新宿区若葉 1-7-1 03-3353-1751